

新藤信夫市政ニュース

平成17年1月

Vol.4

発行: 自民党・彰政会
新藤信夫事務所
TEL FAX
048-647-7713



あいさつ

新藤信夫



新年あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、皆さまにおかれましては益々ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素はさいたま市議会議員、新藤信夫に対し多大なるご支援、ご厚情を賜り誠にありがとうございます。

平成14年4月の市議会議員選挙から早いもので2年近くが経過し、新しく誕生した政令指定都市さいたま市が、皆様にとって快適で心安らぎ、そして誇れるまちとなりますよう、皆さまのご要望に誠意を持ってお答えすべく日々の課題に取り組みしております。

昨年、全国的に10個の台風上陸、10月には新潟県中越地震と大きな災害が相次ぎ、あばれた「サル」が日本をひっかいたような年で、一兆円に迫る被害を受けた年でしたが、幸いにしてさいたま市においては、一部地区の浸水を除いて大きな災害もなく比較的平穏な年だったように思えます。

年が改まって、予算編成もいよいよ大詰めの時を迎え、政令指定都市三年目の平成17年度予算は、過去二年間の経験をふまえて、より充実したものとなる必要がありますが、今、国では三位一体改革をかける小泉内閣のもとで、国と地方の税財政の見直しを行っており、この行方によって地方の予算も大きく変わることになります。

そもそも「三位一体改革」は平成12年に施行した、地方分権一括法を基本として、国と地方が法律上対等となり、税財政においても国から地方への流れを確固たるものとし、具体的には、使途が限定されている国からの補助金を削減し、それに替えて地方への大幅な税源移譲を行った上で、地方交付税のあり方を見直し、地方自治体間の財政力格差を調整することを同時に実施することによって、自治体の自立を促し、地方分権を推進するものだったのですが、これに加えて3兆2千億円の補助金削減案が先行して検討されたことが問題を複雑化させています。

今議論されている国庫補助金の調整費目、大きくは義務教育費、生活保護費、公共事業費、地方交付税の削減で、いずれも地方自治体の財政に大きな影響を及ぼすものです。

地方においては、財政の効率化・健全化を図るため、市町村合併が進められ、また、民間でできることは民間へと大きく転換の舵を切ったところであります。

さいたま市も岩槻市との合併を4月にひかえて、地方の活性化のために自立性を高めて、自己解決型の仕組みを作り上げる必要があると私は考えております。

今年も西暦、全国に向けてさいたま市が、羽ばたける年となるよう自治能力の向上と市民の生活環境の一層の充実に向けて、皆さまのご要望に応じてまいります。



市長に平成17年度予算要望書を伝達

サッカーの街さいたま 喜びに沸く!! 浦和レッズ/リーグ優勝!・J2大宮アルディージャ/J1昇格決定!・レイナスFC/初優勝!

さいたま市は、11月22日市役所本庁舎に祝福の横断幕3枚が掲げられた。初優勝を決めた、女子サッカーリーグのさいたまレイナスFC、11月20日にJ2大宮アルディージャがJ1昇格決定、同日J1浦和レッズのステージ初制覇を祝うもので、サッカー王国さいたまの復活となった。

各チームの活躍は、大きな地域効果をもたらしており、地域の一体感と直接的・間接的な経済効果には目を見張るものがあります。

埼玉県で始めてサッカーが行なわれたのは、明治41年に県師範学校が部活動に取り入れたのが最初で、その後は県内中・高校にも広がり、昭和30年代には県立浦和高校や市立浦和高校が毎年のように全国制覇を続け、昭和45年には、高校三冠に輝いた市立浦和南高校の活躍が、「赤き血のイレブン」として漫画化され全国的に知られるようになりました。

大宮アルディージャのJ1昇格に伴って、大宮公園サッカー場の増設が必要とな

っています。さいたま市サッカー議員連盟では、市長に対してJ1の試合を行なうのに必要とされる客席数15000席(現在12500席)規模にすることを要望しました。完成は、平成18年度になる予定。

今シーズンは、「さいたまダービー」(レッズ対アルディージャ)も実現することになり、ファン層も拡大して、市内への経済効果も大きく膨らみます。

しかしながら、懸念の声もあります。アルディージャの観客動員数がレッズの5分の1にとどまっていることから、興行成績や親会社の対応次第では、2チームの維持が難しくなる可能性もあり、99年に横浜市にあった横浜ブルーゲルスが横浜マリノスに吸収された経験をふまえて、大宮アルディージャには親会社の経営に左右されない集客基盤の強化、一層の地域密着戦略、サポーターの掘り起こしに努めてもらいたい。

何よりもJ1存続とリーグ優勝を目指して活躍を期待します。



新藤信夫議員 清水栄典GM



浦和市役所/横断幕



斉藤雅人選手 三浦俊也監督 新藤信夫議員

大宮アルディージャ J1昇格
感謝の集い(12月15日)

「さいたまタワー」誘致 その後...

さいたまタワーの誘致活動では、今年春から夏にかけて署名活動を行ない、皆様には大きなご協力をいただき、私の手元に自治会と合わせて約9800名、県全体では175万人(11月末日現在)誘致署名をいただき、9月22日には、さいたまスーパーアリーナにおいて、「さいたまタワー実現大集会」を開催して、大きな盛り上がりを見せました。

その後、県議会議員、市議会議員有志による候補地視察や、国会では県内選出議員によるタワー実現を目指す国会議員連盟が結成される等、有力者による活動も続けられ、一方では、石原信雄総代表、上田知事、相川市長を筆頭として、総務省等への要望活動も行なわれ、経済団体も積極的な誘致活動を展開しています。

有力候補地である他の4地区(足立区-入谷・東六月地区、浅草-墨田公園周辺、池袋-造幣局、東京タワー周辺)も誘致活動に力を入れて来ており、予断を許さない状況にあります。

新たなタワーは、2011年には完全にアナログから移行するデジタル放送用の電波塔としての役割ばかりでなく、タワー完成後の観光収入や併設される複合ビルの利用等により、にぎわい不足の新都市地区の活性化や、年間350億円とも言われる経済効果、2000人以上の雇用誘発効果等が創出されると期待されています。

今年3月(平成16年度末)には、建設地がNHKと民放5社によって決定される予定になっていますが、それに向けてこれから3ヶ月間、さらに誘致活動を強めてゆく必要があります。

「平成17年度予算要望」

昨年10月、自民党・彰政会は、平成17年度予算編成に当たり、相川市長に要望書を提出しました。例年この時期には、市予算編成の中盤を迎え、市執行部に当会派の考えを予算に充分に反映させるために行なっているものです。

平成16年度予算では、一般会計3,696億円、特別会計2,087億円、企業会計50億円、合計6,291億円(12月補正)となっており、平成17年度予算では、岩槻市との合併により岩槻区が加わることから、7,000億円を超える予算となることを見込まれており、無駄使いのない経費削減に努めた予算となることを願うものです。

要望事項 区要望 81項目(9区)
全体要望 299項目

大宮区関連としては次のとおり

- 区要望 1. 大宮区役所庁舎は竣工から38年が経過していることから、設備機能(空調、冷暖房等)の不足、老朽化が進み、早急な改修の必要がある。
2. 街頭犯罪、侵入犯罪の多発化を防止するため、市民の防犯意識の向上と防犯活動の高揚を図って、安全で安心なまちづくりを進める。
3. 道路照明灯、カーブミラーの増設及び、公衆トイレ等の改修、修繕を図る。
4. 大宮駅東口の混雑、交通渋滞緩和を図るため、再開発事業に支障を来たさめ範囲で、さいたま市の表玄関に見合った暫定的整備を進める。
5. コミュニティ活動推進緊急整備事業として、区内の自治会活

動の支援、集会所の用地確保、建設及び老朽化に伴う修繕を推進する。

6. 大宮駅東西において放置自転車の整理整頓を図るため、駅周辺に駐輪場の設置を進める。
7. 平成17年3月に大宮駅開業120周年を迎え、また、鉄道博物館が平成19年に開館することが決まっていることから、「鉄道のまち」としての文化の一層の進展を図る。
8. 道路等の整備推進
(1)南大通東線(2)中山道の歩道整備(3)三橋中央通線
(4)氷川参道(5)産業道路(6)鉄道博物館周辺道路
(7)岩槻区との連絡道路の新設・強化
(8)氷川緑道西通線(区役所前通り)

全体要望(大宮区関連事項)

- ・東西交通大宮ルートの整備に関する調査を実施する。
- ・東武野田線とJR京浜東北線の相互乗り入れ及び改札口の一元化を図る。
- ・大宮駅東口または西口にシティ・エア・ターミナルの整備を図る。
- ・大宮サッカー場の拡張整備を図る。
- ・青少年宇宙科学館・宇宙劇場の充実を図る。
- ・「(仮称)さいたま市民医療センター」の建設推進。
- ・セントラルパーク(合併記念見沼公園)の整備を図る。
- ・氷川参道の整備を図る。
- ・駅前都市基盤整備の内 大宮駅西口、東口・都市計画道路等の整備推進及び早期事業化を図るの内 三橋中央通線、大宮中央通線、南大通東線、産業道路、中山道、大宮警察通り・国道17号の拡幅(上落合~大宮駅入口)・河川改修、治水対策事業の促進を図るの内 鴻沼川、鴨川、芝川・夏季の集中豪雨等による都市型水害への対策を図るの内 桜木町地区

三橋中央通線 本格工事始まる!

三橋中央通線(大宮駅西口駅前通り)は、大宮駅西口と新大宮バイパスをつなぐ幹線道路で、さいたま市の表玄関である大宮駅への重要なアクセス道路です。

当初は埼玉県の事業として、国道17号と新大宮バイパス間(約1.4km)の東側半分が、平成2年に事業決定され、平成11年度には、ほぼ用地買収も終了し、平成12年には片側(南側)の歩道整備と車道拡幅予定地の仮舗装の暫定整備がなされていました。

しかしその後、3市合併を控えて、工事は中断、鴻沼川から都市計画道路荒川左岸線までの約500m間では、車の侵入防止バリアカーが置かれているにもかかわらず、一時は100台近い車が不法に駐車し、自転車の通行も多く、暫定歩道も思うように通行できない時期がありました。

今回の工事着工は、三年半ぶりです。本格工事の第一歩となるものです。本年度の工事の内容は、当道路を横断する上小排水路の暗渠敷設替工事と、この工事のための現道切戻し工事、そして電線共同溝工事の三本で、12月初旬から工事に着手し、来年3月までに完成する予定となっています。

これらの工事については、11月29日に上小町自治会集会所において、さいたま市北部建設事務所主催で総勢約30名を集めて説明会が行なわれ、当区間については、平成17年度からは、西側から路盤及び舗装工事を行ない、約700mの区間を平成19年度までに4車線、幅員25mの道路として完成させるとの説明がありました。

しかしながら、残り西側約700m、新大宮バイパスまでの拡幅整備が完了しなければ、今年度からの整備工事の意味が薄れてしまうことから、残り区間の整備予定についての参加者からの質問に対して、担当者からは、東側区間完了後の平成20年度に事業実施(用地買収開始)、平成26年度完了予定との回答がありました。大宮駅西口から国道17号までの区間が平成2年に事業決定されてから、全長約2kmの道路を4車線化するのに、実に25年も時間がかかるようでは遅すぎるのではないかと、今後残り区間の事業前倒し、用地買収期間の短縮等に努めるよう要請を強めていきたいと考えておりますので、地元の皆様のご協力をお願い致します。

大宮東警察署 2月1日オープン!

埼玉県警は、今年2月1日に大宮東警察署を見沼区風波野に新設します。

これに伴い、大宮東署が見沼区全域を、大宮西署が西区と大宮区の一部(三橋1~4丁目、柳引1丁目、上小町)を、大宮署が北区と一部を除く大宮区をそれぞれ管轄区とすることに変更となります。

埼玉県の中でも大宮駅を中心とした地域は、犯罪発生率の高い地域です。警察力の強化とともに、自主防災意識の高揚も必要となって来ています。



【皆様からのご意見】

「市議会議員は住民の窓口です。」

【上小町Sさん】

今年の夏は最高気温を次々と塗り替え、温度計の水銀柱を押し上げました。そのことが影響したのか、アスファルト道路の痛みも多く見られました。私が住む三橋中央通線は、大宮西高校、大宮南高校、大宮光陵高校に通う自転車通学路になっています。道路と歩道・側溝の間のアスファルトが沈下し、自転車等の動きに支障をきたし、転倒などしたら大変ということで新藤信夫市議会議員に歩道等の凸凹を無くして欲しい旨をお願いしました。早速カメラを持参し、比較対象物を置き写真を撮影。

「数日後、見事完了!ヨカット!」

また台風の上陸も10回を数えました。大宮区は幸いにして被害が少なかったように思いますが、北日本では大きな水害をもたらしました。

が、その後が大変!!。新潟県中越え大震災が発生しました。M7です。多くの方が避難をして、多数の帰る家が無い人が避難生活を続けました。まさかの出来事でした。私達が住んでいるところでは、あり得ないと思うのが当然です。そのあり得ないことが起こるのです。

先日、三橋小学校の校庭で多くの皆様の参加を頂き、大宮区防災訓練が実施されました。新藤信夫市議会議員は災害時の本部役員です。平日頃どのようにしたら良いのか?相談しても良いのかな?。一度話をさせていただきます。

【上小町Nさん】

私たちの街には自然を生かしたままの公園があります。四季折々の草花もきれいで、身近な憩いの場で、いつもきれいになっているなと思っていました。今年自治会の理事になったのでボランティア清掃に参加しました。そこで自治会の副会長をしている新藤議員とご一緒に掃除をしながら少しの時間ですがいろいろな話ができました。

三橋中央通線の工事再開のことやさいたまタワーのこと、教育の問題や小さなことまでほうきを動かしながら話をさせていただきました。今、行政ではどうなっているのか、解りやすく教えていただきました。

これからも頑張って

くださいと思うと同時

に、議員といっ

てもとても身近に感じ

ましたし、ほかの方

にも困ったことがあ

れば話してみたらと

言ってあげようと思

っています。

